（別紙２－２）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月2日
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	保多盛、中谷、西村、古屋、勝原 室永、堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	10人	4人	人	14人

前回の改善計画

今後、毎月15日に利用者カンファレンスを開催する。その時に新規利用者様についても取り上げ、入所前後の情報やニーズ、課題などを話し合い情報共有する。
アセスメントシートの様式、サービス提供者会議の様式を変更する。アセスメントシートは利用者様の日々の生活で得た新しい情報を記入できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

毎月第二木曜日に利用者様カンファレンスを開催。新規利用者様のニーズについて話し合いをしている。

アセスメントシートの様式、サービス提供者会議の様式は変更出来ておらず改善の余地を残したままである。

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1人	6人	5人	2人	14人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	人	8人	5人	1人	14人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2人	11人	人	1人	14人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	9人	3人	1人	14人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人がまだ慣れていない時期には、早くなじみの関係になり、本人、ご家族との信頼関係が築けるように、声掛けや気配りを心掛けている。
他事業所でのサービスは可能な限りそのまま引き継ぎ、また、出来ることを見極め、より適切なプランに近づけて、本人が安心して暮らしを継続できるように支援した。
伝達ノートやアセスメントシートなどを回覧形式にして情報共有に努めた。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

急な利用登録があり、情報が不十分なことがあった。新規利用開始の際のミーティングも行えていない。
アセスメントシートやサービス提供会議資料の様式が変更できておらず、改善の余地を残したままである。
家族とともに本人を支えるという共通認識を十分に持つことができていなかった。自立支援の考え方への理解不足があった。
職員同士の意見交換、議論をしっかり行えていなかった。
利用者中心（パーソンセンタードケア）が徹底できていなかった。職員中心、事業所都合を先に考えてしまい、一部利用者のサービス内容を変えたことがあり、ご本人に混乱、不安を与えてしまった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

アセスメントシート…利用者様に変化があった時や新しい情報を得た時に、誰もが即座に記入出来るような様式を考え作成する。手書きで記入された情報は、次回のアセスメント時には必ず追加する。
自立支援…H30年度の事業所内勉強会にテーマとして取り上げ、小規模多機能としてどのように捉えどのように対応していくのか、職員間で意見交換し、認識を同じにする。
パーソンセンタードケア…勉強会で取り上げる他、事業所長が認知症ケアマッピングの研修に参加し、その内容を復命講習することで、利用者中心のその人らしさを大切にしたケアの実現を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月2日
２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	保多盛、中谷、西村、古屋、勝原 室永、堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	9人	5人	人	14人

前回の改善計画
限られた人員配置で、できることは何かを考え支援を続けていく。訪問の掃除時間を基本的には30分とし（現在は60分）残りの時間は利用者様のニーズを達成できる時間に使う。 本人様のニーズに合った目標を設定し、ゴールをより明確にすることで、職員間の周知、支援の徹底に繋げていく。 本人様の本当のニーズが聞けるよう信頼関係を築き、必要があればご家族に伝え、ケアプランを見直す等、利用者様ご家族の橋渡し役となる。
前回の改善計画に対する取組み結果
訪問の基本時間を見直し本人様の思いを聞きとる時間にあてた事で、信頼関係が築けた。得た情報は、ミーティングや伝達ノート等で情報周知が出来、利用者様のニーズ達成へ繋がっている。必要に応じてご家族に伝達、相談し、利用者様、ご家族の橋渡し役になれるよう努めている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	人	6人	7人	1人	14人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1人	7人	6人	人	14人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1人	4人	9人	人	14人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	人	8人	6人	人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当面の目標「～したい」については、日々のコミュニケーションから利用者様の思いを聞きとり、 伝達ノート等で情報共有している。不安になっている利用者様には、傾聴、励ましを行い、 勇気づけられるような関わりを行った。ご本人がやってみようと思えるような言葉がけをするよう心掛けた。 日々のミーティングや、サービス提供会議にて、利用者様との関わりを共有し、意見を募り、次の対応に活かしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ご本人の言葉にこそ思いが表れているのに、その言葉に着目することが少なかった。 記録に詳しく残せず具体的な実践内容を共有できていないことがあった。 本人様の本当のニーズ、したいことがつかみにくく、利用者様とのコミュニケーション不足、信頼関係の構築不足があった。日々の忙しさから「業務」としてかかわっていることが多々あり、「ニーズ」を引き出そうとする努力が不足していた。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
ニーズの把握について…アセスメントシートに自由記入欄を設けることで、情報を記入しやすくし、その情報を職員間で共有し、時間が不足している中でも利用者様との信頼関係が構築しやすい環境をつくる。 ご自分で要望を訴えられない方も、日々の表情や行動などからニーズを読み取れるよう、コミュニケーション能力を養うための勉強会を行う。 H30年度に1度は必ず複数名で外出する機会を作り、日頃とは違った利用者様の思いの把握につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	11月2日
３．　日常生活の支援	メンバー	保多盛、中谷、西村、古屋、勝原 室永、堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	8人	1人	14人

前回の改善計画
介護保険の理念を改めて確認し、介護保険を用いて出来ることとできないことを明確にする。 介護保険制度のサービスは、自立支援のためのサービスであるということを、職員がまず認識し、ご利用者様、ご家族にご理解いただけるよう行動する。又、サービス付き住宅職員とも介護保険制度の認識を共有し、ケアタウン山の田としてブレのないサービスを提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
介護保険改正が来年度であり、その時にケアタウン山の田としてはどのように自立支援をとらえ明確に出来る事と出来ない事を見極め介護を行っていくのか課題は継続である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		6人	6人	2人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1人	9人	3人	1人	14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		10人	4人		14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	10人	3人		14人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		7人	6人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の変化や些細な事でも気が付けば声をかけるようにし、情報は伝達ノートの活用と1日2回のミーティングで共有した。体調変化だけでなく、本人の気持ちの変化にも即時的に対応するようにしている。 声色、表情、声のトーン、視線など、言葉の裏にある本当の気持ちを察することができるように努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
介護保険での対応可否が曖昧で、把握が難しかった。職員間での意見の相違などもあり、 自立支援を事業所としてどうとらえてどう対応していくのか周知ができていなかった。 サービス付き高齢者住宅の職員とのサービス連携ができていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
介護保険改正の機会に、改めて介護保険制度について学びなおし、小規模多機能ケアタウン山の田として、自立支援の考え方をどのように考えるのか、また、個々に違う日常生活の支援をどのように行っていくのかを明確にする。その上で、利用者、家族へ説明を行い、ご理解をいただく。 　利用者カンファレンスの際に、サービス付き住宅職員にも参加して頂くよう声を掛け、住宅職員との情報共有を行う。参加できない月は、会議資料を提供し情報共有に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月16日
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	保多盛、中谷、佐々木、古屋、室永 堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	8人	5人	1人	14人

前回の改善計画

まずは、地域資源を把握する。（ボランティア等、どのようなものが地域にあるのか）
ケアタウン山の田の2階レストランを利用して、講座の開催などを検討する。
利用者様の声、要望をしっかりと傾聴し、その方に必要な地域資源を紹介できるように行動する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ケアタウン山の田の２階レストランを利用して、開催しているオレンジカフェでは、地域の方が参加してくださり恒例行事と定着しており山の田内科医師による健康教室、リハビリ職員によるストレッチ体操と合同開催が行えている。
利用者様より要望があり地域資源を紹介できたが参加までには、至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	人	8人	6人	人	14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	人	8人	5人	1人	14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	人	9人	4人	1人	14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	人	4人	6人	4人	14人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご本人や家族からお話を伺う、記録やアセスメントシートで情報共有する等して、
本人の生活スタイルを理解できるよう努めている。
オレンジカフェの開催、参加や地域行事への参加を行っている。
地域の催し物などできるだけ参加していただけるように支援している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者様の要望があり、その方の望む地域資源を探してきても紹介、
参加までは至っていない。参加に繋げるような積極的な関わりができなかった。
事業所が接していないときの本人の生活スタイルについては、詳しくはわからないのが現状である。
日々の決められた業務を優先し、その他のことを知ろうとする努力が不足していた。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

キャラバンメイトを通じて認知症サポーター講座を受けた方を傾聴ボランティアとして受け入れる。
（法人にボランティア受け入れが可能か確認後、行う。）
地域の方から運営推進会議に参加してみたいという声をいただいており、参加していただく予定である。
サービス付き住宅職員に利用者カンファレンスに参加してもらい情報の共有を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月16日
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	保多盛、中谷、佐々木、古屋、室永 堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	7人	2人	14人

前回の改善計画

自立支援のためのサービス、という点を再度振り返り、支援計画書を見直して必要なサービスを見極めていく。毎月15日のカンファレンスや職場会議で報告、提案を積極的に行い、小規模多機能らしい柔軟な支援が行えるようにしていく。　今後は、外部居住利用者様の利用日と、泊りサービス受入日を調整し、全ての利用者様が平等に利用できるように支援計画を立てサービスを提供する。

前回の改善計画に対する取組み結果

自立支援を念頭に置き、日々の変化などその時々の思いに応えながら柔軟な対応をしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	人	5人	9人	人	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1人	8人	5人	人	14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1人	11人	2人	人	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	人	11人	2人	1人	14人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人のニーズを伺ったり、日々の変化などからその時々の思いに応えられるよう柔軟な支援を行っている。
（病院受診、安否確認、外出支援、体調不良時の洗濯の支援など）
自立支援を念頭に置き、利用者様ができることはしていただいている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者様の個々のニーズに応じきれていず、柔軟な支援が平等に行えていない。
利用者様のいきつけの店やなじみの人、必要な地域資源を、十分に把握できていない。
支援計画の見直しが、十分ではない部分があった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

柔軟な支援を行うために、業務改善を進め、時間を生み出す工夫をする。限られた人員でも、工夫次第で時間は作れると前向きに考え、利用者のために有効に使える時間を増やせるように、考えて行動する。
介護保険改正時に、利用者様、ご家族へ説明を行う際、介護保険制度や小規模多機能が提供するサービスについて、改めてご説明を行い、互いの認識を深める。
ケアプランの見直しの際に、ケアマネと担当職員とが意見交換しながら行うようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月16日
６．　連携・協働	メンバー	保多盛、中谷、佐々木、古屋、室永 堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	7人	2人	14人

前回の改善計画
サービス付き住宅職員との連携協働について、レストラン業務等で気づきがあれば、事業所長を通して伝える。 サービス付き住宅職員やリハビリ職員にも情報を発信し、会議への参加を依頼する。 ボランティアや職場体験など、拠点長を通じて地域の学校などに依頼する。

前回の改善計画に対する取組み結果
サービス付き住宅職員、山の田内科医師、看護師、リハビリ職員との利用者様の体調変化や気づきなど伝達し相談を行い連携は出来ているが、会議への参加は難しい。 オレンジカフェやケアタウン山の田納涼祭などの行事に地域の方がボランティアスタッフとして手を貸してくださっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	4人	5人	4人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	2人	4人	7人	14人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2人	5人	1人	6人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	人	2人	4人	8人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス付き住宅職員、山の田内科看護師、山の田内科医師など、利用者様の体調の変化やレストラン業務などでの気づきなど、伝達、相談を行い連携を図っている。 永命寺公園清掃、武久川草刈り、ぴかぴか作戦、餅つき、夏祭りなど可能な限り参加した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス付き住宅職員、リハビリ職員に情報を発信できているが、小規模の会議への参加はできていない。 時間の都合が合わず、実現が難しい。 自治体の会議の参加はできていない。行事の参加については利用者参加に偏りがある。 オレンジカフェに来られた方や見学者、申込者、サービス付き住宅の入居者等が来所されることはあるが、 その他の地域の方が来られる事はほとんどない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
小規模多機能の会議が１６：３０からであるので、参加は時間的に難しいため、毎月13時から行っている利用者カンファレンスに参加していただけるよう働きかける。参加が難しい月は議事録等で情報共有する。 参加していただけるよう働きかける。参加が難しい月は議事録等で情報共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月16日
７．　運営	メンバー	保多盛、中谷、佐々木、古屋、室永 堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	4人	5人	14人

前回の改善計画
運営推進会議については、オブザーバーとしてではなく、きちんとした形で参加し、意見が発言できるようにする。 クレームや要望等記入できる用紙を作成し、サービス付き住宅にも提出し情報共有した上で、対策について返答をいただく。

前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議にオブザーバーではなく参加し意見を発言出来ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2人	6人	4人	2人	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	6人	3人	3人	14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	5人	3人	4人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	人	7人	2人	5人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員としての意見は、職場会議やミーティング時など伝える事ができている。 利用者やご家族、地域からの意見については、しっかりと受け止め、次に活かすように努めている。 清掃活動を通し、地域住民と共同、武久１丁夏祭りは片付けに参加した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
職員の人員配置の都合などで、運営推進会議や地域の行事に参加できていない職員もいる。 意見や苦情があっても反映するまでに時間がかかることがあり、その間、利用者様の負担になってしまう事もある。 職員個々人が運営、サービスの質の維持について意見を持っているが、会議等で議論にまで至らず、せっかくの良い意見が埋もれたままになっている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
意見や苦情、また職員間での意見の相違などは業務改善シートを使用し、早急に意見がまとめられ、運営に反映できるよう、問題が発生してからの期限をきめて行動する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月16日
８．　質を向上するための取組み	メンバー	保多盛、中谷、佐々木、古屋、室永 堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	6人	1人	14人

前回の改善計画

地域連絡会を市に問い合わせたところ、小規模連絡協議会を地域連絡会として捉えて差し支えないとの回答であった。11月の開催では2名の職員が参加できており、来年度もケアタウン山の田で開催されるため、職員の配置を工夫し、積極的に参加出来るよう配慮していく。
地域や自治会などの会議には参加できていないため、来年度は参加できるよう目を向けていく。
インシデントレポートについては引き続き、積極的に事例を挙げ、職員で共有し、危険を回避できるよう活動していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員の配置を工夫し、積極的に小規模連絡会や地域連絡会など参加できている。

インシデントレポートは、積極的に事例を挙げ、カンファレンスにて危険回避にむけ対策を話し合い改善している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2人	9人	2人	1人	14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	5人	3人	4人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	6人	人	7人	14人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2人	8人	3人	1人	14人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場会議や職場内勉強会にはほとんどの職員が毎月参加できている。当日参加できない職員には伝達講習を行っている。
インシデント発生時は些細なことでも取り上げ、ミーティング時にカンファレンスを行い、対策を話し合い改善に繋げている。
自分に足りないと思う事柄に関する本を読み、研修にも参加した。外部の研修に参加した際は、学んだ内容を伝達し、他職員のスキルアップにも繋げている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

研修等で学んだ事を実施するまでに至っていない。（事業所にとってどのように学んだことを提案、実施すれば効果的か考えがまとまっていない）
地域連絡協議会へ参加できた職員が少ない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

外部研修で学んだあとに、レポートという形で職員間に伝達を行っているが、より深く内容を伝達するためには勉強会を行い、研修を受けたものだけでなく、多くの職員に理解を求め実践できるようにする。
研 毎月の勉強会は、月担当者が学んだことをテーマにして行う。
研 地域連絡協議会への参加は来年度も参加を継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年11月16日
９．　人権・プライバシー	メンバー	保多盛、中谷、佐々木、古屋、室永 堺、日坂、野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	7人	6人	人	14人

前回の改善計画

常時見守りが必要な利用者様が複数いらっしゃり、職員がフロアに不足している状況は発生する。居室内でもベッドから起き上がるなど、危険があり、安全を取るかプライバシー保護を取るかはその時々で考え行動する。他利用者様との兼合いもあり、どうしてもスピーチロック等見られる場面があるが安全面や優先順位を考え、職員本位にならないよう利用者様本位の支援を心掛けていく。
個人情報について、申し送りやミーティングなどリビングで行わざるを得ないときには、イニシャルを使い伝えるなど配慮を行う。PC画面やテーブル上などに個人情報が開いたままの状態をなくすよう各職員が気を配り意識する。
成年後見人制度について、知らない利用者様、ご家族が多いと思われるため、制度についてのパンフレットを配布する。

前回の改善計画に対する取組み結果

安全面や優先順位を考え、行動できるように職員間での声掛け情報共有をし利用者様本位の支援を心掛けた。
個人情報については、各職員が気を配り意識している。
成年後見人制度についてパンフレットを配布、説明等柔軟に対応している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	4人	8人	2人	人	14人
②	虐待は行われていない	7人	6人	1人	人	14人
③	プライバシーが守られている	1人	10人	3人	人	14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	10人	人	人	14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1人	9人	4人	人	14人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束・虐待・成年後見人制度など、勉強会を行なって意識付けをしている。
優先順位を考え、スピーチロックをしないように心掛けた。
排泄の声掛け等、他者に聞こえないように、離れた場所で行うなど配慮を行なっている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

個人情報の保護について、リーダーに報告する時など、リビングで申し送りをする際、他利用者がいらっしゃるのに個人名を出してしまう事があった。
職員が一人で対応する場面（夜勤中等）で、いけないことと分かっているが、スピーチロック（座っていてください、など、言葉で利用者の動きを抑制すること）のような不適切なケアを行ってしまったことがあった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

スピーチロックは、利用者の安全を最優先した場合、せざるを得ない場面も少なくなく、特に夜勤帯に起こりがちであるが、利用者様とゆっくり話ができる時は、しっかりと話を傾聴し、本人が満足できるような伝え方、接し方を工夫する。スピーチロックを含め、人権、プライバシー、虐待防止に関する勉強会を行い、職員全員で常に振り返りを行う機会を設ける。